

公益財団法人 檜の芽会 御中

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】		① 作成日	令和 7 年 5 月 30 日
② 法人・団体名	チーム フランボネ		
③ 団体所在地 (都道府県・市町村名まで)	〒211-0053 神奈川県川崎市中原区上小田中 6-37-1 メゾンシマダ 201		
③ 責任者氏名	マヌー島岡	(役職名等)	代表
④ 担当者氏名	藤田ゆみ	(役職名等)	副代表

【奨学活動の概要】					
⑤ 助成交付決定番号	R06-009	⑥ 助成金額	30 万円	⑧申請カテゴリー	A
⑨奨学活動名	笑って学ぶ！漫才教育！				
⑩主な実施場所名・及びその住所	兵庫県姫路、愛知県名古屋市、岐阜羽島市、東京都世田谷区（様式 3-2 参照）				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3-2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

本活動は「お笑いで社会課題を解決する」ことを目的に、障害者や外国人など多様な参加者による「バリアフリー漫才 D-1 グランプリ」や英語漫才講座を全国で実施。やさしい日本語や多文化的視点を取り入れた漫才・落語体験を通じて、言語や文化、障害の壁を越えた自己表現の機会を創出し、地域の絆を育みました。参加者からは「自分にもできた」との声が多く寄せられ、笑いが持つ共感と包摂の力を実感する場となりました。（様式 3-2 参照）

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3-2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A：人)	平均時間 (B：時間)	活動量 (A x B)	備考・補足・計算根拠等
中学生等	50	2	100	
高校生等	50	2	100	
大学生等	10	2	20	
学習支援員等	0	0	0	
その他	0	0	0	
合 計			220	

⑬その他の定量的な数値（任意）

令和 6 年度伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

奨学活動名：笑って学ぶ！漫才教育！

法人・団体名：チーム フランポネ

作成者 氏名： マヌー島岡

1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

本事業は、「お笑いで社会課題を解決する」ことを目的に、障害のある方や外国人などのマイノリティを対象としたバリアフリー漫才大会「D-1 グランプリ」や英語漫才の作成講座を全国各地で開催しました。言語・文化・障害の壁を超えて「誰もが笑いでつながる」ことを目指し、やさしい日本語や多文化的視点を取り入れた漫才・落語体験などを通して、参加者の自己表現力と社会参加の機会を創出しました。



2. 実施した奨学活動の詳細

活動内容の詳細

(1) 姫路福祉専門学校「バリアフリー漫才 D-1 グランプリ 漫才作成講座」

- 開催日：2024 年 7 月 27 日～28 日
- 場所：姫路福祉専門学校 多目的ホール
- 内容：漫才作成講座と落語体験教室を実施。ADHD や脳性麻痺の方など、多様な背景を持つ方々が参加。

(2) 名古屋「バリアフリー漫才 D-1 グランプリ」

- 開催日：2024 年 8 月 4 日（土）
- 場所：「べにしだの家」
- 内容：やさしい日本語による漫才作成講座、D-1 グランプリ本番（10 組出演）、ギターパフォーマンスやカラオケ大会などエンターテインメント企画を実施。

(3) 姫路市「はりまお笑いフェス D-1」

- **開催日**：2024 年 12 月 15 日（日）
- **場所**：姫路市商工会議所 大ホール
- **内容**：マイノリティ（障害のある方や外国人）による漫才大会を開催

(4) 岐阜羽島「バリアフリー漫才 D-1 グランプリ」

- **開催日**：2025 年 3 月 18 日（火）
- **場所**：BLOCK47（岐阜県羽島市）
- **内容**：やさしい日本語を用いた漫才作成、関西弁（三段落ち・ツッコミ）への挑戦。80 名が参加し、岐阜地域での反響を受け、年内に大会開催が決定。

(5) 児童養護施設福音寮 「万漫才作成講座」

- **開催日**：2025 年 1 月 25 日（土）
- **場所**：福音寮（東京都世田谷区）
- **内容**：簡単な日本語を活用した三行漫才、三段落ち、しゃべくり漫才の作成と発表



参加人数

- ・ 名古屋：約 100 名（障害者、高齢者、小中学生含む）
- ・ 岐阜：約 80 名（障害者就労支援施設 A 型利用者 65 名＋関係者 15 名）
- ・ 姫路：延べ 147 名（漫才講座 26 名、落語体験 21 名、漫才フェス観客 100）
- ・ 東京：福音寮に暮らす小・中学生 約 20 名

周知方法や協力いただいた関係者

- ・ 福祉施設・学校との連携
- ・ チームフランポネ公式 SNS や地域回覧板を通じた告知
- ・ 各施設スタッフ、ボランティア、教育関係者の協力

地域やボランティア活動との連携

- ・ 各地の福祉施設（べにしだの家、BLOCK47、姫路福祉専門学校）
- ・ 地元中学生、高齢者との異世代交流
- ・ 福祉教育を専門とする教員・スタッフがサポート

学習支援員について

- ・ 芸人（チームフランポネ）が講師として活動
- ・ 福祉職員・教育者が参加者を個別サポート

3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等 得られた成果

- ・ 参加者の「自分でも漫才ができた」という成功体験と自信
- ・ 年齢・障害・文化を超えた「協働による笑い」
- ・ 観客との一体感を通じて地域の絆が強化された

反省点・課題

- ・ 開催地によっては参加者募集が困難なケースあり
- ・ 本番当日の時間配分や進行スムーズ化に課題あり

今後への発展性

- ・ 岐阜、姫路での好評を受け、年内に地域大会の開催が決定
- ・ 「お笑い×教育×福祉」のモデルを他地域にも展開予定
- ・ 海外とのオンライン交流イベント（英語漫才）も計画中

4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等（任意）

岐阜羽島での活動では、普段あまり声を出さない方が「なんでやねん！」と叫んだ瞬間、会場が大きな拍手と笑いに包まれました。その姿を見たスタッフが涙ぐんでいたのが印象的でした。姫路では、障害のある中学生が自作のボケを披露し、笑いを取った後「僕にもできた！」と笑顔で話してくれたことが忘れられません。笑いには、人の心を開き、つなげる力があることを改めて実感しました。

5. 学識者からのご意見、コメント、等（申請カテゴリーにて「S」が付されている団体）

